

Virtual TJCAS 2020 の発表成果報告書

感想文

群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻

電子情報・数理教育プログラム

令和2年11月12日

学生： チャンミンチー

学籍番号： T182D002

出席会議名称：

「Virtual TJCAS 2020 Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems」

会議期間： 2020年11月7日 (Web開催)

発表論文：

- ① "Stability Test for High-order Ladder Low-Pass Filters"
MinhTri Tran, Anna Kuwana, Haruo Kobayashi
- ② "Derivation of Image Rejection Ratio for High-Order Complex Filters"
MinhTri Tran, Akemi Hatta, Anna Kuwana, and Haruo Kobayashi

第6回台湾と日本の回路とシステムに関する会議 (TJCAS 2020) は、2020年11月7日にオンラインで開催されます。TJCASの目的は、回路とシステムに関連する最新の結果について交換するためのフォーラムを提供し、強化および/または台湾と日本の間のさまざまなレベルの協力を発展させる。

(http://nlab.ee.tokushima-u.ac.jp/nlab/tjcas20_top.html から引用して和訳)

学会の発表形式として、各講演では10分（質疑応答2分）での発表でした。



1. Research Background Achievements of Study

Superposition formula for multi-source networks

$$V_o(t) \sum_{i=1}^n \frac{I_i}{Z_i} + V_o(t) \sum_{i=1}^n \frac{1}{Z_{oi}} = \sum_{i=1}^n \left(\frac{V_i(t)}{Z_i} + I_{oi}(t) - I_{oi}(t) \right)$$

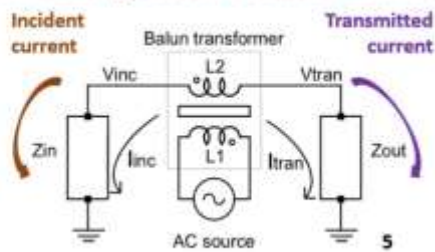
Self-loop function

$$L(\omega) = -\frac{V_{inc}}{V_{trans}}$$



10 mH inductance

Alternating current conservation



私は Technical session B と Technical session D というセッションで発表しました。基調講演や他大学の方の発表を聞くことができ、専門分野についての理解を深めるとともに、他分野への視野を広げました。発表論文は、複雑なアナログ回路の動的振る舞い・安定性をステップ応答から評価する手法を様々な回路に適用したもので、理論解析を行いその有効性をシミュレーション・実験の両面から裏付けたものです。



留学生にとって、この国際の学会発表経験は一生の宝です。この会議に参加できたおかげで、一流の研究者との交流ができ、最先端情報が得られました。半導体回路設計技術の知識が必要だと思います。今後、自分の専門分野の知識を学んで、理解を深めるとともに、英語と日本語能力を高めていきたいです。

学会を紹介して頂き、学会準備から普段の研究までご指導頂いている小林春夫先生及び桑名杏奈先生。そして、研究指導頂いた小堀先生、谷本先生に感謝を申し上げます。

国際会議に参加させていただき、どうもありがとうございました。この会議で得られた知識は本当に役立ちました。